



# 恕の心



令和4年4月19日 校長 廣瀬 真樹

## 89名の仲間を新たに迎え令和4年度がスタート

4月6日(水)午後1時半より令和4年度入学式が本校体育館で行われました。澤村PTA代表が見守る中、大きな声で返事をし、89名が丸中生の仲間入りをしました。

式辞の中で、中学校生活で心がけてほしいことを2つ話させてもらいました。一つは「心の實力」をつけるということです。自分の幼い心(自分の行動に責任をとらない心、自己中心的な言動をしてしまう心)を取り去り、友達のいいところ探しをできる人を目指してほしいという事です。二つ目は「恕の心」を持つということです。恕の心とは他人を認め、許し、思いやる心です。「ありがとう」「ごめんなさい」を素直に言える人には素敵な未来が待っています。



式辞の言葉は、もちろん在校生に向けての言葉でもあります。この中で「ピンチな時は先輩を頼ってください。モデルとなる先輩がたくさんいます。そしてこの学校には先輩面だけするような人はいません!」と話させてもらいました。

在校生のこの1年の成長ぶりは見事です。当たり前前の礼儀を当たり前にししっかりできる姿は先輩として本当に「かっこいい」です。丸中全員でいいスタート切ってこの令和4年度を最高の年にしていきましょう。皆さんの活躍を大いに期待したいと思います。



## 松村のひとり言・・・？

今年度より突然生徒玄関に登場したものの・・・皆さんもう見ましたか？新しく赴任された栄養教諭の松村先生が掲示してくださっています。しかも毎日更新されています。

内容がまた豊富で、給食というより「食べること」に興味のわくものです。これをただの「ひとり言」にさせるのはもったいないですね。

「食育」という言葉を皆さんは聞いたことがありますか？食べることは生きる上での基本であって正しい知識、望ましい食習慣を学ぶことは「生」に直結する大切なことだと言われています。給食だけでなく、食習慣全体に興味を持つことは自分の成長に大いにプラスとなるはずです。また学校に来る楽しみが増えました！感謝感謝です。



## 校長コラム

### 練習には「いい練習」と「悪い練習」がある

吉田沙保里

オリンピックで金メダルを三度獲得した女子レスリングの吉田選手はこの言葉をこんな風に解説しています。「『自分から積極的に自らを高める練習ができたか』それとも『監督やコーチの言われたことだけをやってただ練習時間を過ぎしてきただけか』ということです。つまりただ課題をこなすだけでは意味がない。費やした時間を自分のプラスにするという心構えが重要なのだと思います……。

結局、部活でも勉強でも、何事も自分自身が、そのことにどんな心でトライするかで決まるのだと思います。この言葉、オリンピックで活躍するような、特別な人の、特別な言葉？ではないように私は思います。皆さんはどう思いますか。